第7回びわ環サークル活動報告　　(2016年7月21日)

表題	**栗東市こんぜ桃源郷 竹ご飯で里山体験**	日時	2016年7月21日(木)　10:00～13:00　晴れ
参加者 敬称略	事務局：青木豊明先生 35期：竹村啓子・近松清司（記） 36期：青木和夫 参加者：計4名		
講師	**こんぜ桃源郷 オーナー 澤九麻男氏(38期びわ環)**		
場所	栗東市井上368　　こんぜ桃源郷		
参加費	1,000円（お米･お漬け物・お茶・講師謝金）		

(はじめに)

集合場所のコミュニティセンター金勝玄関で、同市の「百歳大学」を主催されている元滋賀県知事国松氏に出会いました。青木先生とは親しくお付き合いされている由、百歳大学開講の思いを熱く語られる国松氏のお話はとても興味のあるものでした。機会があれば国松氏を一同講師にお迎えしたいものです。

また青木先生より､「人工芝充填剤である黒ゴムチップの有害性」というこれまた興味あるお話がありました。これも機会をあらためて詳しいお話しを聞く機会が欲しいものです。

澤九麻男氏の自宅訪問

金勝の里

金勝寺（こんしょうじ）というお寺（大きな伽藍と仁王さん）がある。近くにには九盆の滝と金勝山があり、山頂からは琵琶湖が一望できるそうです。

澤氏は近辺一帯の土地（山）を所有されており、代々宮大工の家系。お家はお寺のような作りで､昔から年忌さんや報恩講など地区の人が集まるように博く立派な作りで大きな仏間や応接間も備えています。

最近はここには鹿やイノシシもやってきます。その他多くの地域の成り立ちや歴史についてお聞きしました。

]

金勝桃源郷で竹ご飯をいただく

全員（五人）澤氏のダンプに乗り、山道をひとしきり走り、澤氏自慢の金勝桃源郷へ。途中は澤氏自身が切り開いた悪路を猛スピード？で疾走。ダンプ荷台の３名は今にも振り落とされそうになりながら、必死に耐えて目的地の少し開けた土地へ。後で聞けば、すごいガタガタ道は雨水を流すためわざと溝をいっぱい設けているのがガタガタ道の原因でした。一帯は全て澤氏の持ち山なのでダンプの荷台への乗車も問題なかったのでは・・・。

竹ご飯作り

U 字溝をかまどに、周りの落葉や竹、伐採木を燃料として集めました。いいお天気で枯れ葉もいっぱいあり、すぐに火はつきました。

火は燃え立つ勢いのある状態から、太い木々が燃えて“おき”ができた状態にします。
そこへ、事前に澤氏が用意して下さった竹に洗米と水をほどほどに入れ、“おき“状態のかまどの火にかけます。

約３０分でご飯が炊きあがりました。おかずは澤氏は事前に買ってきて下さった福神漬けやきゅうりのお漬け物、ふりかけなどだけですが、やはり里山屋外での食事はとても美味しかったです。